

射水市立塚原小学校活動報告

◆あいさつ運動

毎月、1日、15日、25日の朝、PTA、地域の方と一緒に挨拶運動に取り組んだ。生活・代表委員会の児童は、元気な声で挨拶する子やさわやかな態度の子を、「あいさつ名人」に認定し、お昼の放送で紹介した。



◆米作り体験活動

5年生(24名)は、総合的な学習の時間に「米作り」について学習した。5月19日(水)、射水市農業委員会、アグリ松ノ木組合、いみず野農協営農指導課、同窓会役員の方々にご指導いただき、5年生は学校田で田植えを体験した。はじめは「キャー! 気持ち悪い」となかなか足が進まなかった子も、次第にコツをつかんで要領よく作業を進めていた。田んぼには、オタマジャクシやクモ、アメンボ等の生き物がたくさんいて、とっても嬉しそうなお子たち。作業を終えても、「まだ入っていたい、もっと植えたい」と名残惜しい様子だった。冷たい泥の感触や生き物と触れ合った体験は、きっとこの先何十年経っても子供たちの忘れられない思い出となることだろう。

9月24日(金)に豊かに実った稲を刈り、こぼれ落ちた穂の一粒一粒も大切に拾い集めた。米作りの大変さや、食べ物いただくことのありがたさを実感した一日となった。収穫したお米は、精米後、自作のクイズを添えて、全校児童と日頃お世話になっている安全パトロール隊等の地域の方々にプレゼントした。



◆塚原名産「白ネギ」作りを体験

3年生20名は「白ネギ」作りを体験した。地域のネギ作り名人の方に、畑をおこす様子やネギを植え付けている様子を実際に見せていただくという活動からスタートした。実際の苗植えの機械に関心をもつ子供もいた。

その後、さらにネギ作り名人の方と一緒に草取りや収穫を体験することで、食べ物を育てることの大変さやネギが大きく成長することへの喜びを味わうことができた。



◆その他の活動

- 学校花壇整備には、美化・栽培委員会の児童を中心に全校児童が携わり、花を育てる心や学校や地域をきれいに整備し、彩る気持ちを育んだ。
- 4年生は、「環境チャレンジ10」の活動で、ペットボトルキャップ集めをするなど、環境意識を高めた。
- 1月に、書き損じはがきの回収を呼びかけ、集まったハガキをユネスコ協会や福祉協会へ届けた。

●今後の抱負

- ・地域への挨拶の輪を広げていきたい。進んで明るく元気な声で挨拶をしていきたい。
- ・新型コロナウイルスが収まったら、地域のお年寄りや保育園児との交流を行いたい。
- ・遠く離れた人や外国で困っている人を助けるための募金や援助活動への意識を高めたい。